



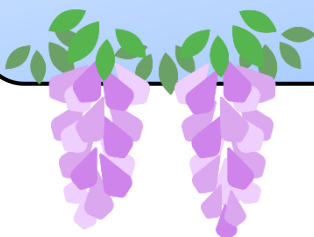
ともに伸びる馬室っ子 ～あせがきらきら馬室っ子～

令和5年5月1日

5月号

鴻巣市立馬室小学校
電話 541-0578

馬室小だより



ともに伸びる馬室っ子！

校長 齋地 満

学校が始まり、ひと月ほどが経過しました。おかげさまで各学年、クラスともにスムーズなスタートを切ることができたと感じています。校庭では子供たちの明るく元気な声が飛び交い、活発な姿も見られ、ほっとしています。また、先日行われました1年生を迎える会では、校庭にも関わらず大きく響く渡る歌声に、馬室小学校を大切に思う子供たちの気持ちが伝わりました。私も早く馬室小学校に溶け込み、子供たちと触れ合っていこうと思います。

さて、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）において、日本は見事に優勝しました。なかでも大谷選手は投手としても打者としても大活躍でしたが、何よりも素晴らしいと思ったのは、仲間を励まし、鼓舞して奮い立たせる姿です。前向きな言葉かけやガッツポーズは、チームに勢いを与えました。仲間をよい方向に導いていく大谷選手の姿に感動しました。また、最年長のダルビッシュ投手もアメリカ・メジャーリーグの選手でありながら、日本チームの合宿に初日から参加し、自ら若い選手に声を掛けるなど、リーダーとしてチームをまとめる役割を進んで果たしていました。その結果、選手一人一人が仲間を信じ、最後まであきらめないことで、チームが一つとなり、世界1位となりました。さらに印象深いのは、大会後の選手たちの活躍です。インタビューの表情を見ると顔つきまで変わったように感じます。互いに、教え合い、認め合い、励まし合う中で、**ともに力を伸ばす**ことができたのだと思います。

馬室小学校の学校教育目標も、「**ともに伸びる馬室っ子**」という素敵な言葉です。仲間と一緒にがんばることで一人一人も大きく成長し、一人では解決できないことも仲間とならよりよい方法を導き出すことができるからです。子供たち一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出す「協働的な学び」とも重なります。

そこで、この教育目標を子供たちとの合言葉に据えて、教育活動を推進していきたいと考えています。地域の方々や多様な専門家との協働も行っていきたいので、お力添えをお願いします。

